




KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。
 **木徳神糧**
証券コード：2700

2018年12月期第2四半期

決算説明資料

 **木徳神糧**株式会社
2018年8月24日



KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。

 **木徳神糧**

証券コード：2700

2018年12月期第2四半期 連結業績の概況



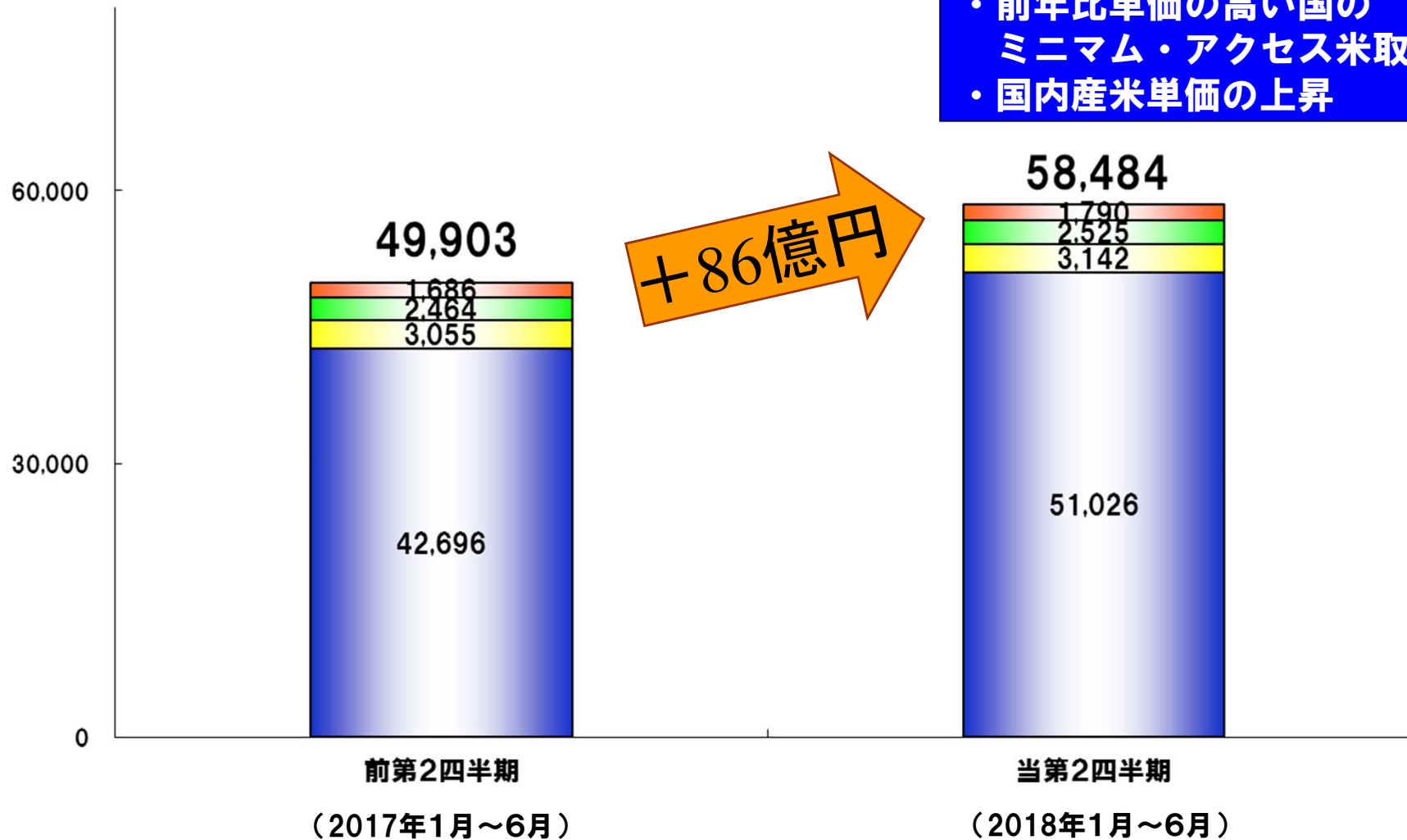
増収・営業増益・最終減益

単位：百万円

	前第2四半期 (2017年1月～6月)	当第2四半期 (2018年1月～6月)	増減額	前年同期比
売上高	49,903	58,484	+8,581	117.2%
売上総利益	2,949	3,211	+262	108.9%
売上比	5.9%	5.5%		
販売管理費	2,669	2,683	+14	100.5%
売上比	5.3%	4.6%		
営業利益	279	528	+249	189.2%
売上比	0.6%	0.9%		
経常利益	330	572	+242	173.3%
売上比	0.7%	1.0%		
特別損益	406	▲8	▲414	—
売上比	0.8%	—		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	639	369	▲270	57.7%
売上比	1.3%	0.6%		

単位：百万円

■ 米穀事業
 ■ 飼料事業
 ■ 鶏卵事業
 ■ 食品事業



米穀事業

- ・ 前年比単価の高い国のミニマム・アクセス米取扱い増加
- ・ 国内産米単価の上昇



コメの相対取引価格の推移

KITOKU SHINRYO

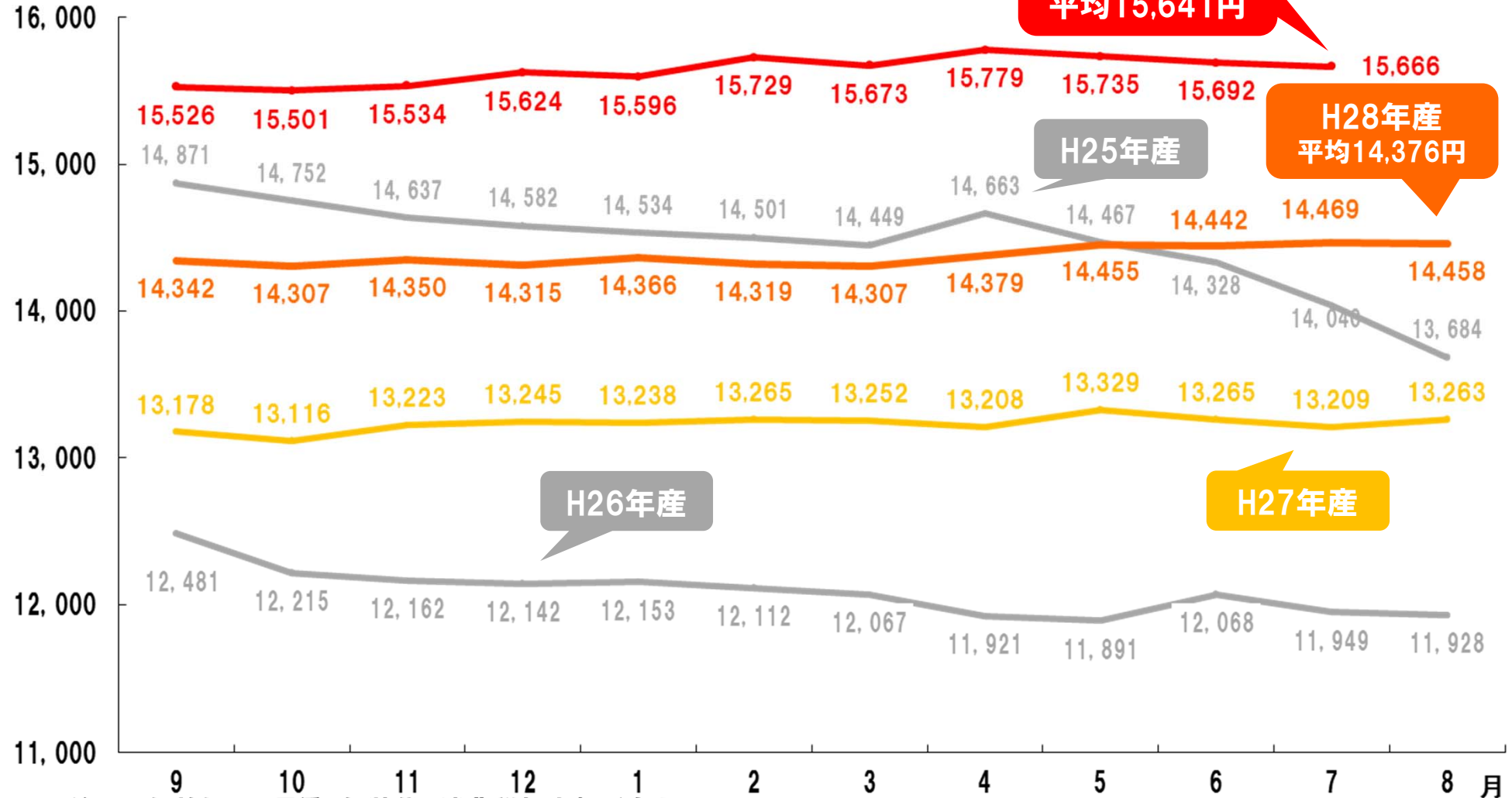
お米と。あなたと。

木徳神糧

証券コード：2700

(9月からの単純平均)

単位：円/60キロ



注：1. 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

2. 相対取引価格は全銘柄平均価格であり、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

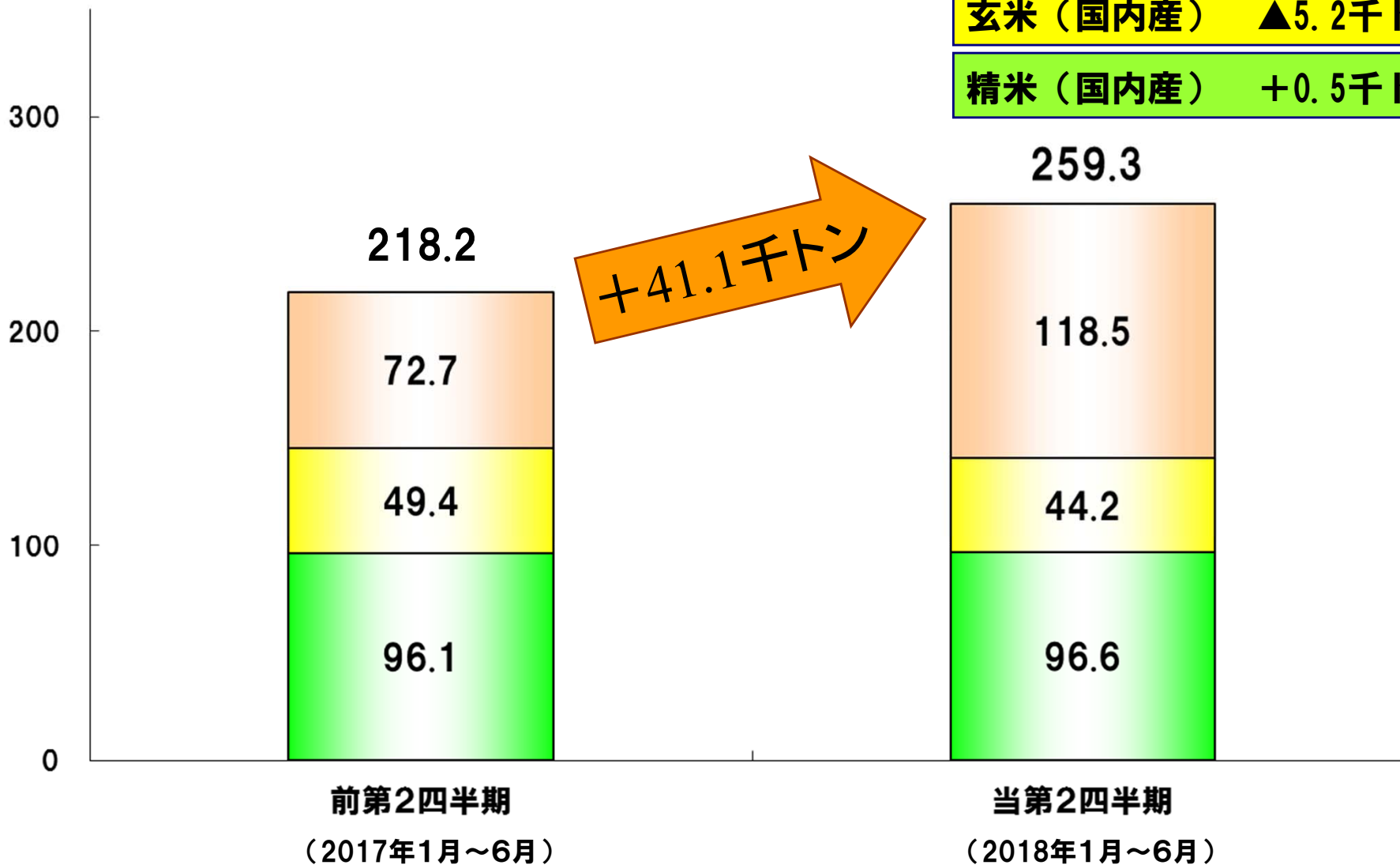
3. H25年4月から消費税3%アップで8%となっている。



販売数量（米穀事業）

単位：千トン

□ 精米(国産) □ 玄米(国産) □ 精米(外国産)



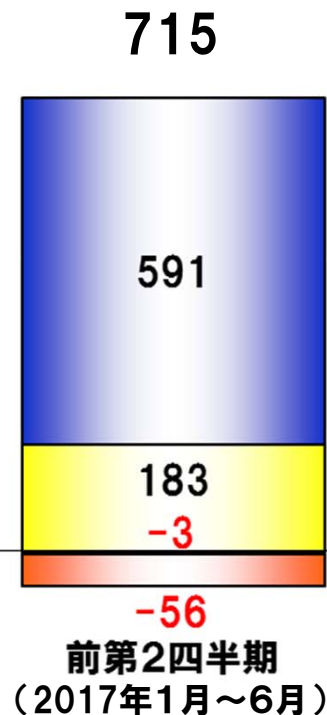


営業利益（セグメント別）

単位：百万円

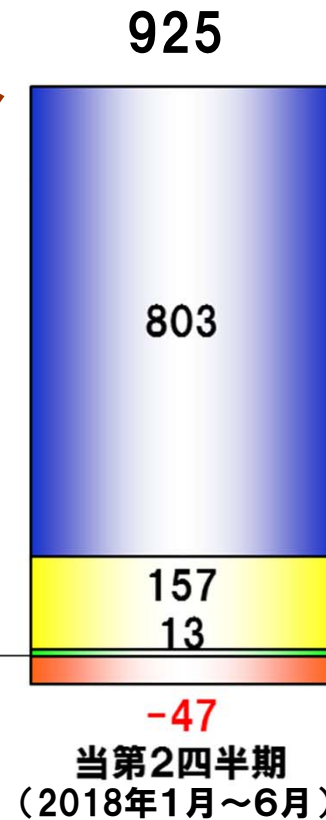
□ 鶏卵事業 □ 飼料事業 □ 米穀事業 □ 食品事業

1,400
1,100
800
500
200
-100



+2.1億円

米穀事業
・ 国産米の仕入価格上昇に伴う
販売価格の改定が進捗

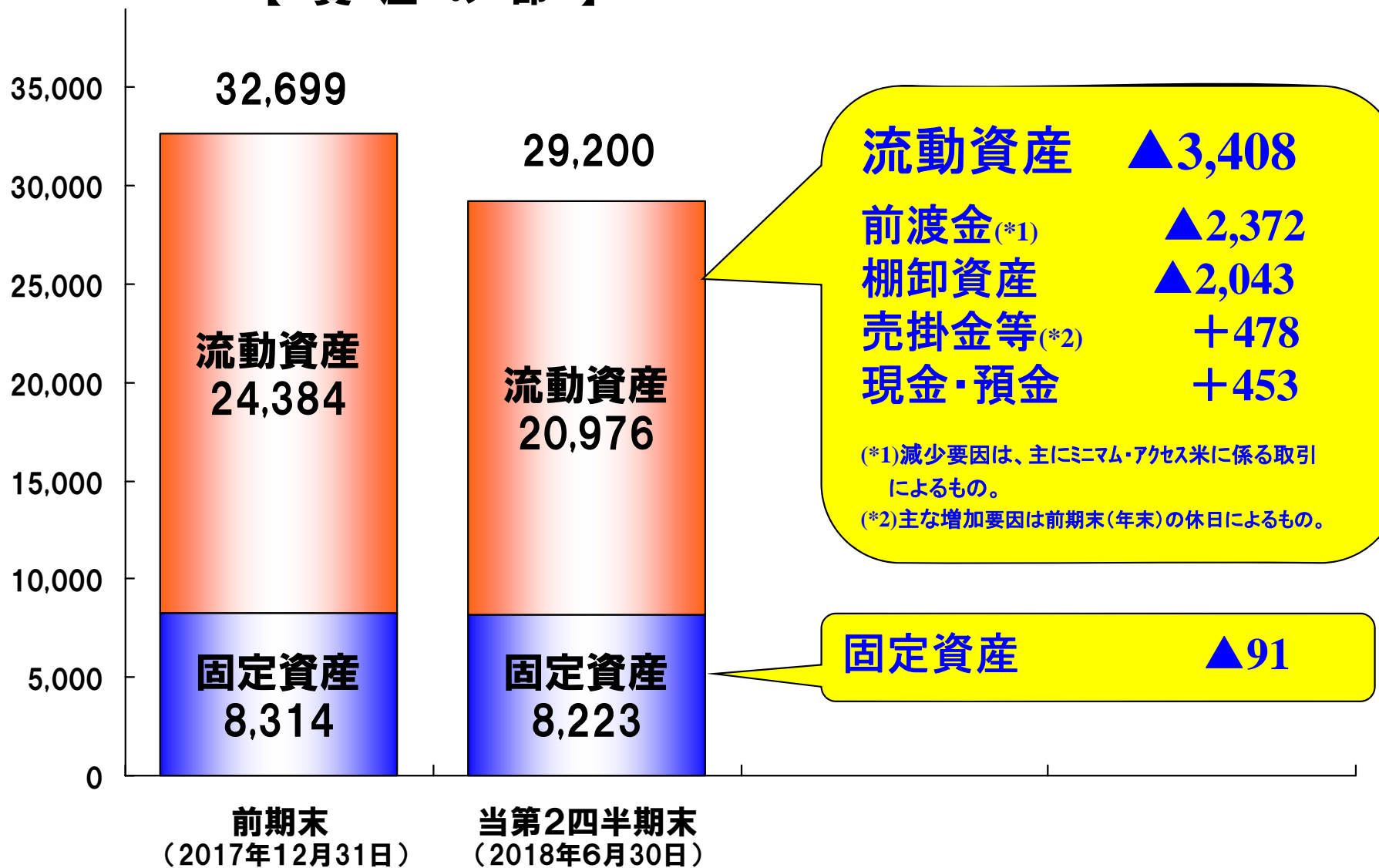




資産、負債及び純資産の状況（1）

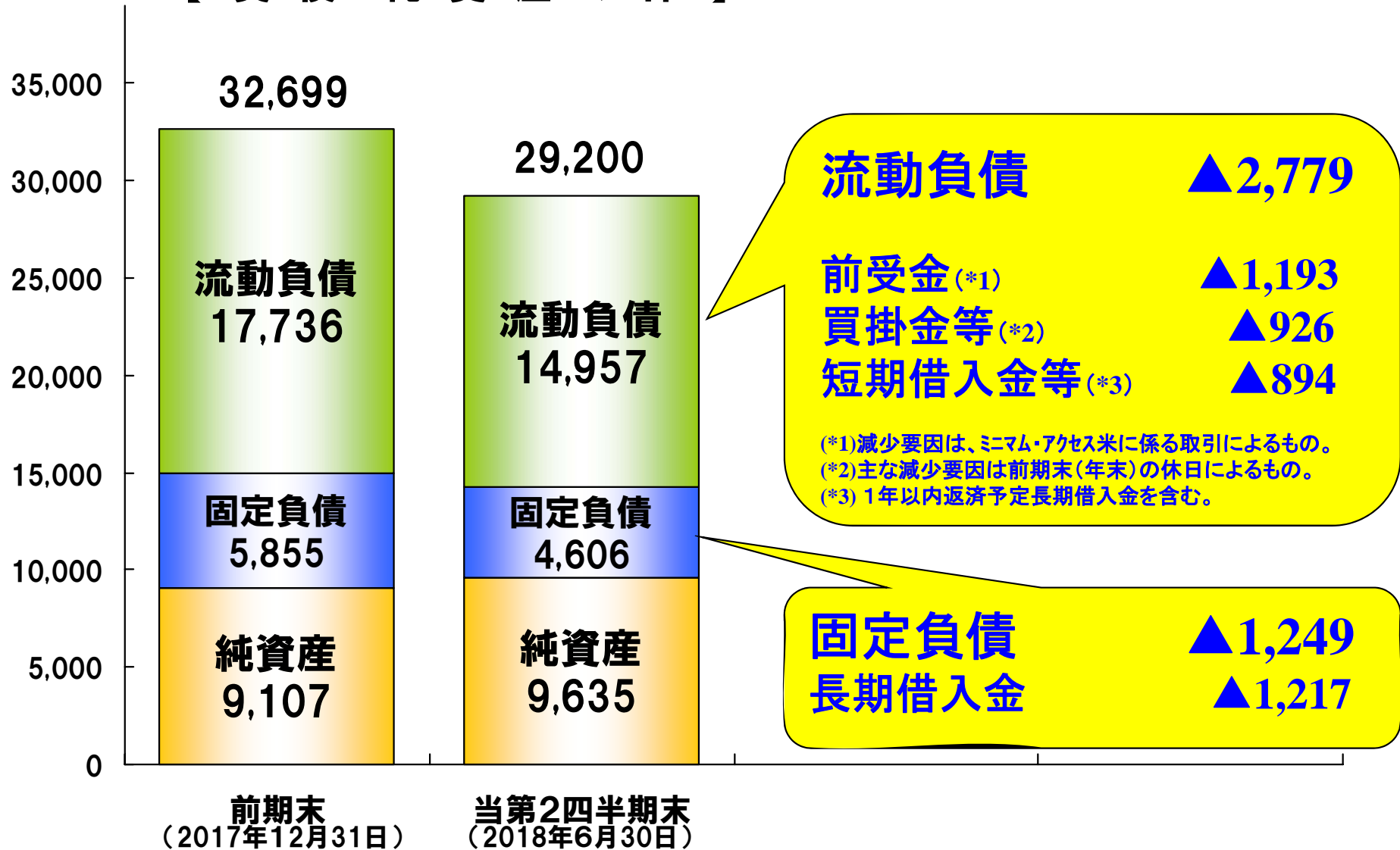
単位：百万円

【 資 産 の 部 】



単位：百万円

【 負債・純資産の部 】





決算ハイライト (B/S)

お米と。あなたと。

 木徳神糧

証券コード：2700

	前期末 (2017年12月31日)	当第2四半期末 (2018年6月30日)	増減額
総資産 (百万円)	32,699	29,200	▲3,499
純資産 (百万円)	9,107	9,635	+528
自己資本比率 (%)	27.5	32.6	+5.1
1株当たり 純資産 (円)	1,129.64	1,152.81	+23.17

(参考)自己資本:2017年12月末 8,997百万円、2018年6月末 9,525百万円。



決算ハイライト (C/F)

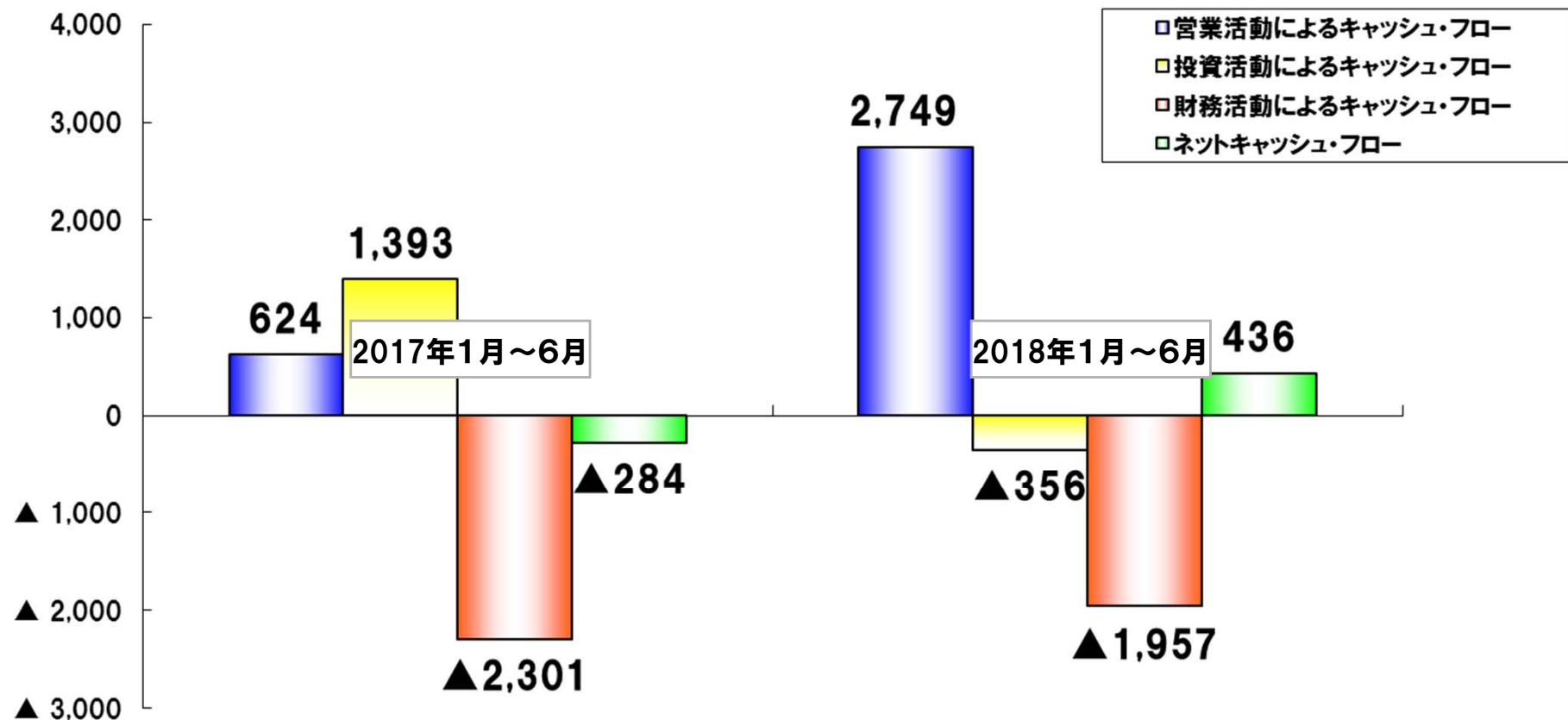
お米と。あなたと。

木徳神糧

証券コード：2700

単位：百万円

	前第2四半期 (2017年1月～6月)	当第2四半期 (2018年1月～6月)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	624	2,749	2,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,393	▲356	▲1,749
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,301	▲1,957	344





KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。

 **木徳神糧**

証券コード：2700

経営戦略



経営理念

コメビジネスを軸に世界中の消費者に
コメとコメ関連食品の素晴らしさを発信し、
健康で楽しいライフスタイルの実現を
サポートします。

キーワード

変化へ迅速対応
存在意義の発揮



木徳神糧株式会社

米穀事業 (主力事業)

国内：生産者に近づく体制づくりの進化
販売における量の拡大と質の向上
生産体制の再構築

海外：コメビジネスのグローバル展開
国産米輸出の拡大と市場の開拓

飼料事業

- 販売数量の拡大
- 用途転用の促進

鶏卵事業

- 加工品の販売強化
- 独自商品の開発

食品事業

- 付加価値商品の拡大と海外展開

◇生産者に近づく体制作りの進化

■独自品種の生産と販売の拡大

多収穫品種を生産者と実需者双方へのメリット訴求し普及拡大

生産者：面積あたり収穫量、作期分散、中食・外食向け安定ニーズ

実需者：値頃感のある原料の長期的な安定調達

平成30年産見込4,000トン（当初計画3,000トン）平成31年以降7,000トン目標





◇ J A 全農との業務提携

■ 業務提携の相互メリットを実現

生産から販売までの一貫した取組みを確立

**仕入・販売・製造・物流・商品開発等で協力体制を進化
双方のメリットを最大化する具体策を項目ごとに検討**

産地・生産者・実需者ニーズにも応える仕入体制作り

**実需者との特定契約や事前契約の拡大に共同取組
主食用をはじめとした様々な分野における米の供給力を発揮**

安定供給とコストダウンの実現

互いの経営資源を積極的に有効活用し、Win-Winの体制構築

◇ J A全農との業務提携

■ 5つの分野で具体的な協業内容について検討中

原材料米



- ・ 販売計画に対応した
安定的な原料調達

広域実需者対応

- ・ 広域展開する実需者
に対し、共同で
スキーム提案



製造・配送効率化

- ・ 工場の共同利用や
共同配送による効率
化・コスト削減



商品開発

- ・ 米を主原料・副原料
にした新商品の
共同開発や拡販



輸出対応

- ・ 拠点や輸送の共同
利用、共通ブランド
の開発



◇販売における量の拡大と質の向上

■「健康」「利便性」を軸に独自商品の展開

グルテンフリー新商品「金のいぶき玄米麺」、
「金のいぶきマカロニタイプ」発売予定（10月、仮称）

ノングルテン、ベジタリアン・ビーガン対応、機能性食品、
アレルギーフリー、小麦粉代替ほか米粉等の活用に向け試作



「金のいぶき」を原料にした玄米麺
（発売前のイメージ）



パンズ、パン粉を米粉で作った
グルテンフリーコロツケパン



◇販売における量の拡大と質の向上

鮮度保持の自社ブランド（NB）シリーズ商品展開
小容量2kgの伸張と要望を受け、5kgラインナップを企画中



現在展開中の鮮度保持パック（2kg）

◇生産体制の再構築

■ 基幹工場である桶川精米工場の拡充

常温・低温倉庫の新設に着工（2019年2月完成予定）

鮮度保持製品5kg生産ラインの完全自動化（10月完成予定）



鮮度保持製品製造ライン

■ 生産管理体制の全社的レベル向上

FSSC22000・ISO9001・HACCP等の国際認証の維持

委託工場含むグループ全体の運営体制整備と見直し

◇コメビジネスのグローバル展開

■ 世界各国の美味しいコメを供給

寿司・丼物・定食などの用途別に適したジャポニカ米
（日本産・外国産）を提供

■ ベトナム南部における生販体制の拡充

自社契約栽培に加え外部集荷を推進し、取扱数量や品種の確保
Ba the工場の乾燥能力を継続的に拡張
Long Xuyen工場の高品質化を追求



Long Xuyen工場の増設選別機

◇国産米の輸出拡大と市場の開拓

■安全・安心で高品質の国産米輸出の拡大に注力

既存取引実績のある国で卸・業務用の大口ユーザー新規開拓
販売数量の増加と共に利益拡大の仕組み作り
商談会・展示会への積極参加



昨年引き続きタイフェックスへ出展



タイ・バンコクでの新潟米宣伝会



◇販売数量の拡大

- 北海道、中京、関西、九州における販売強化
- 仕入ルートが増加による数量確保
- ニーズの高まる養殖向け水産飼料原料の拡販
米糠・飼料用小麦粉等の取扱で当社強みの発揮
- 製品の用途転用促進
キノコ培地原料の販売強化、肥料その他用途転用へ
- グループの海外拠点を活用し輸入飼料の取扱拡大



有望市場である魚の養殖



菌床栽培向けキノコ培地



海外から高品質な飼料の輸入



◇付加価値商品の拡大と海外展開

- 新潟製粉工場の活用と付加価値商品の製造
ノングルテン認証に向けFSSC22000を年内取得見込み
- 本社ビルのテストキッチンを活用
販売と連携した商品開発を強化



新潟製粉工場



新潟工場内製粉設備



テストキッチンでの試作



KITOKU SHINRYO

注意事項

お米と。あなたと。

 木徳神糧

証券コード：2700

本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本資料は、2018年8月14日現在のデータに基づき作成しております。

【お問い合わせ先】

木徳神糧株式会社 社長室

TEL：03-3233-5125 Email:ir@kitoku-shinryo.co.jp

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>